



岡山大学「教職大学院のカリキュラム及び教育方法・体制」の特色について

岡山大学大学院教育学研究科長 高橋香代

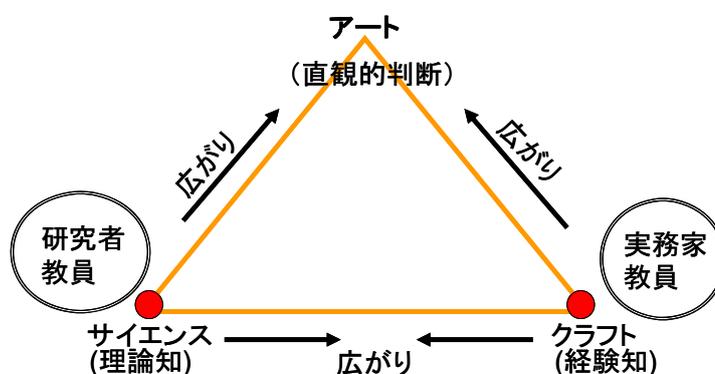
1) 岡山大学教職大学院の特色

- 専門職を育成する観点の共有。
- 学校・教委と連携して学校課題に取り組み、学校支援活動で検証。
- 評価を改善につなぐことで、大学教員の意識改革。
- 教職大学院の成果を、学部教育・修士課程・全学教職課程に生かす。

2) 「理論と実践の融合」の実現に向けた取組

(1) 研究教員と実務家教員の協働で 専門職を育成する方向性 (53 頁)

全科目で実務家教員と研究教員が共同授業。
院生のアートを磨くために、両者が広がりを持って指導していくことの確認。



(2) 「理論と実践の融合」を具現化するためのFD活動 (47 頁)

研修会 (検証した評価の共有)
公開授業
授業の相互参観
講演会

ピアレビュー中の様子
実務家教員
と研究教員

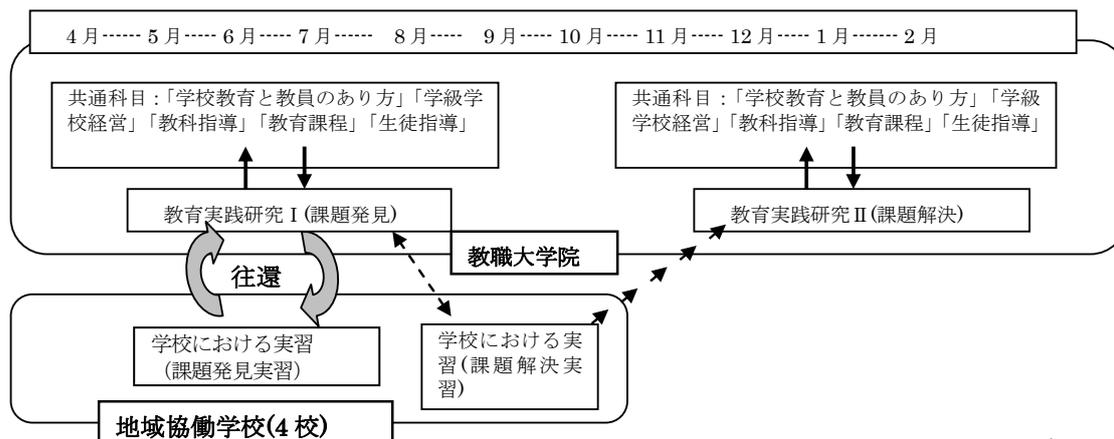


(3) 実習校を共通のフィールドに多角的な視点で分析 (主に新卒院生) (27 頁)

実習校は岡山版コミュニティスクールの地域協働学校 (中学校区単位)。共通科目で学習した理論を分析の観点として実習経験を分析する。共同省察により、課題発見・分析能力が多角的に、課題解決の方策も多様な提案。



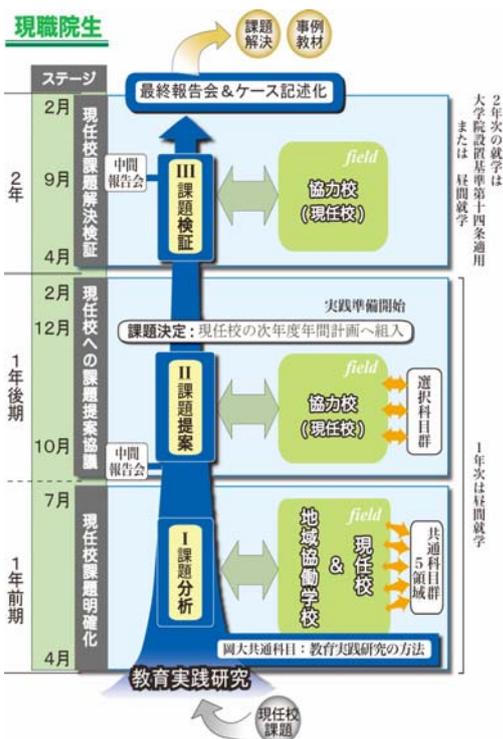
● 共同省察により新卒院生の視野が広がって、自己課題が明確化していくプロセス



(98 頁)

4 月最初の自己課題	9 月課題解決実習での自己課題
教師と児童との信頼関係を築く授業実践	児童に伝わりやすい指示の工夫
学習指導、学力・生活態度等の評価、部活指導と学級・授業経営の関連、教員として心がけること	学習指導、生徒同士の間関係と学級経営、同僚性と教師間の役割分担、学校と部活動の関わり
教師として自分にしかできない言葉かけ	教師として適切なタイミングで言葉をかける
授業を通しての仲間づくり、集団づくり	授業を通しての仲間づくり、集団づくり
教師と児童、児童同士のかかわりの在り方	児童の反応や活動の様子等を想定した指導
学びのある授業をどうつくるか	課題追究し、自分の言葉で表現し合う授業づくり
楽しくて「分る」授業づくり	意欲的に取り組めて「分る」授業の計画・実践
すべての児童が学びやすい授業の在り方	板書や話し言葉による適切な説明の在り方
授業力の向上	児童が考えを交流していく授業
生徒の発言を生かした柔軟な授業づくり	ここの学習意欲を高める授業づくり

(4) 現職派遣教員は、学校課題をテーマに「教育実践研究」を行い、その成果を学校現場で検証した上で、一般化・理論化する。(14 頁)



研究指導においては、研究教員・実務家教員に加え、県教委の指導主事も指導している。

→校長の理解がポイント

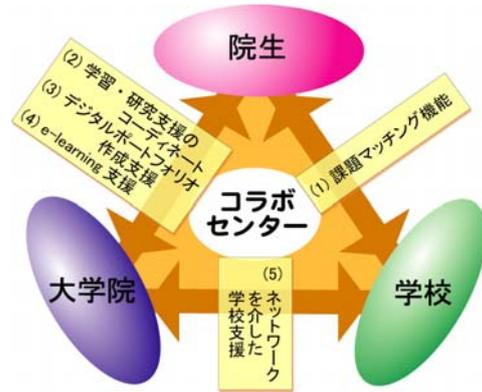
現職院生 課題は、現任校に実際に存在する比較的大きな課題が対象。現職院生は既に課題を把握して入学。それに対応する内容設定。

教育実践研究	
I(課題分析)	共通科目も活用した分析法を踏まえて、現任校での課題を構造的に把握・明確化する。
II(課題提案)	課題分析で得られたいくつかの課題解決方法を現任校へ提案・検討し、教職員と協働して次年度の改善計画を作成する。課題を定量的に抽出する活動等も取り入れる。
III(課題検証)	提案した改善計画に基づいて実践研究を行い、その成果を評価、検証、言語化し、他校でも活用できる様に一般化する。

3) 学修成果の可視化を実現するための取組

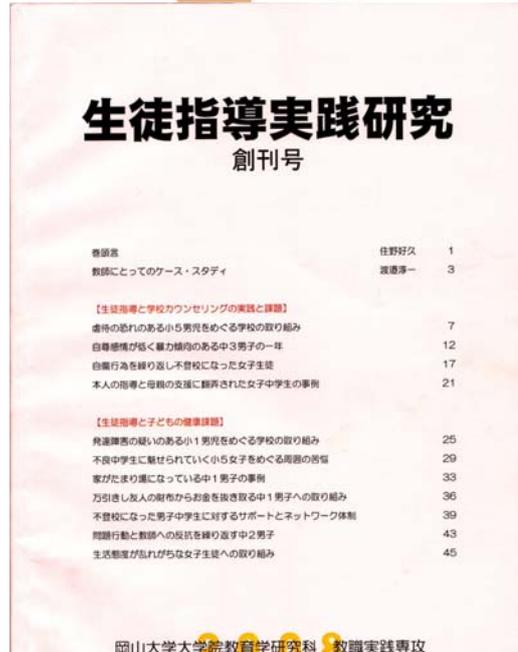
(1) 学習成果をデジタル・ポートフォリオとして蓄積して評価 (31 頁)

岡山大学教職大学院 SNS 「こらみゆ」の構築



(2) 教科書の作成・教材開発

- 県教委と連携したスクールリーダー研究の成果を教科書に
 - ① 学校組織マネジメントとスクールリーダー (学文社)
 - : 兵庫教育連合大学院共同研究プロジェクト
 - ② スクールリーダーの原点 (金子書房)
 - : 教員研修センター委嘱「平成 20 年度教員研修モデルカリキュラム開発事業」
- 授業中で取り組んだ事例研究を報告書として、教職大学院の教材として活用
 - 「生徒指導実践研究」
 - 成功例ではなく、実際の体験を振り返ったもの。
 - 院生には授業で培った生徒指導の知見を学校で生かす。
 - 大学教員は指導を振り返る。



(3) 現職院生が「教育実践研究」の成果を、校内研修や県単位での講習の講師として報告

- 『学校における危機管理に関する研究』
- 学校安全に対する教職員の危機管理意識と組織体制の改善 -

最初は現任校における学校課題の取組
 ↓
 県総合教育センターと共同研究で、県下の校長、教頭、教員、養護教諭、事務職員に対して危機管理意識と組織体制の調査
 ↓
 現任校で体系的校内研修の企画と実践、検証。地域での組織体制整備を通して、地域づくりに生かす。
 ↓
 事務職員研修講師を5カ所勤める。県総合教育センターの危機管理マニュアル作成に成果を生かす。



4) 教育方法などの取組

(1) 現職教員学生とストレートマスターの合同教育における配慮等 (共通科目)

- ①オリエンテーション時に、到達目標の違いと、現職教員は現任校での新人研修に役立てる観点から、新卒には学校現場の実態や教員の考え方を感ずるため現職教員院生と積極的にコミュニケーションをとるように指導している。
- ②共同授業では、発問や課題のレベルを変える、グループ分けを固定化しない、事例研究の発表担当の時期や内容を考慮する等。

(2) 実習校でより効果的な実習を行うようにするための取組

- ①全実習校と教職大学院運営協力会議で意見交換・調整。
- ②各実習校の実習担当大学教員は、実習生の様子を見ながら実習校の教員と密な情報交換を通して、学校の方針を尊重しつつ共通理解を図る。
- ③学校支援活動を積極的に行い、学校現場の負担軽減と教職大学院への理解に努める。

●コラボセンターの実習支援機能

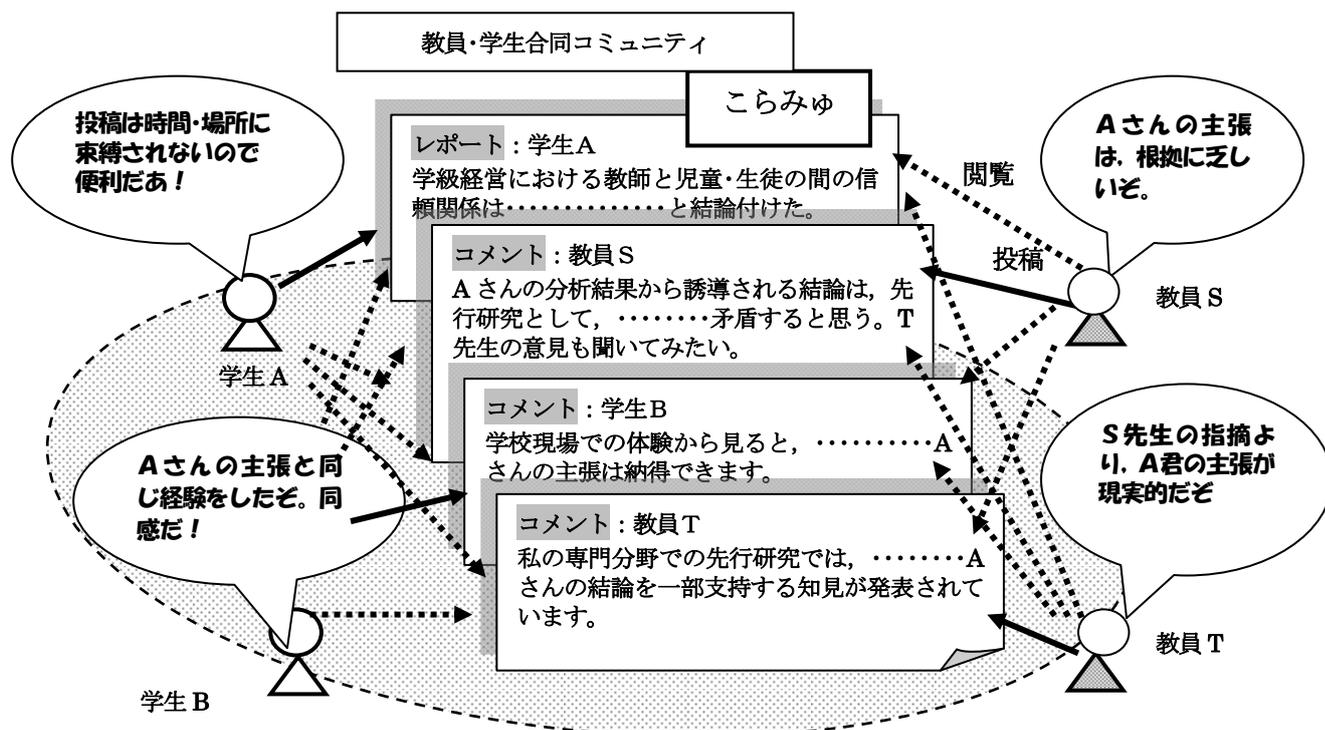


iChat による遠隔個別指導
: コラボセンターと実習校との間で
資料提示共有し交信



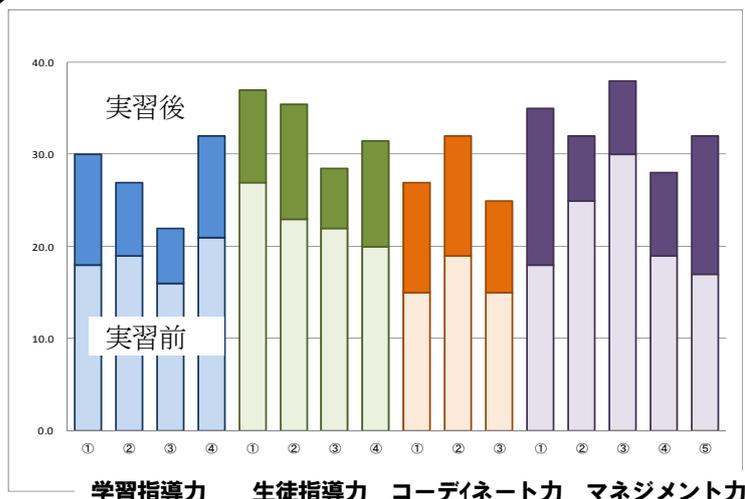
実習校で院生が担当した授業をコラボセンターで指導教員の解説を聞きながら視聴する他の院生たち

(3) 「こらみゆ」での『教員・学生合同コミュニティ』での意見交換 (33 頁)



(4) 学生評価を共有して改善に生かす

● 実習前後の自己評価 (95 頁)



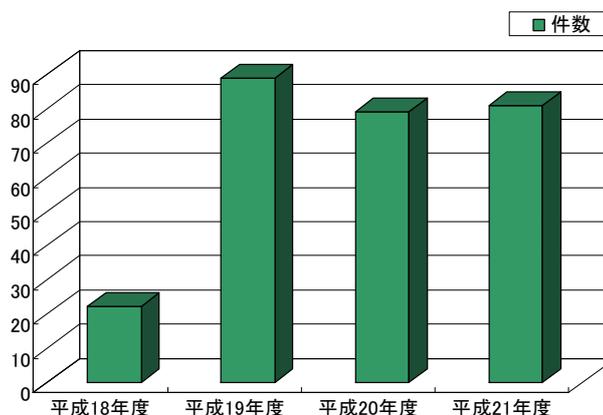
5) デマンドサイド (教育委員会) の要望をカリキュラム改善に反映させるシステム

- (1) 「教職大学院連携協力会議」の設置
- (2) 実習・教育実践研究等の「報告会」に県教委・市教委の指導主事や実習校校長が出席
- (3) 岡山県教委・岡山市教委との包括協定締結に基づく連携事業で信頼関係の形成
- (4) 大学教員が教育委員会の委員等で協力、また学校現場に学校評議員や校内研修講師として社会貢献をする中で、デマンドサイドの実情や要望を知る。

● 大学教員の教育委員会
関連兼業数

教職大学院設置に向けての協議の中で、大学教員が県教委・市教委の事業に協力していく体制がつけられた。

教育委員会の兼業件数



6) 今後の方向性

(1) 教育内容・教育方法の改善の方向性

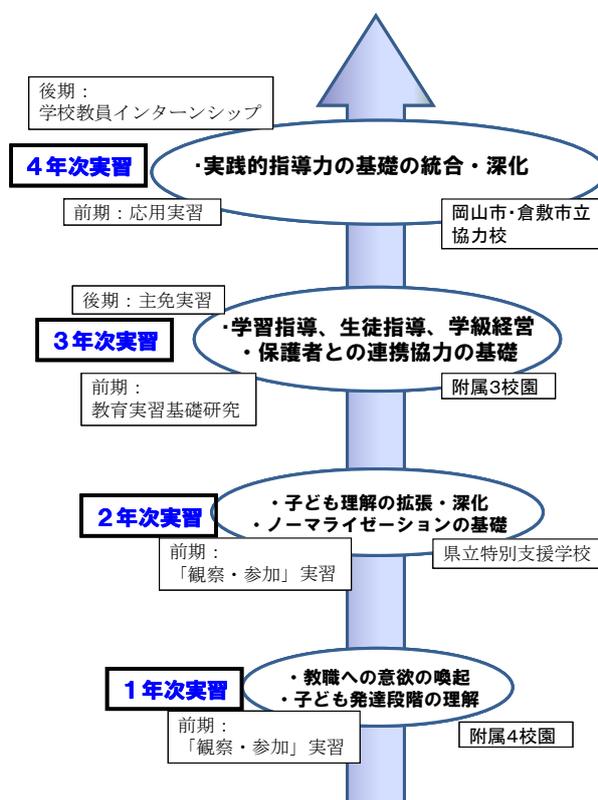
—生まれただけの教職大学院です。育つ時間が欲しい。

専門職育成の教育と同僚性の育成

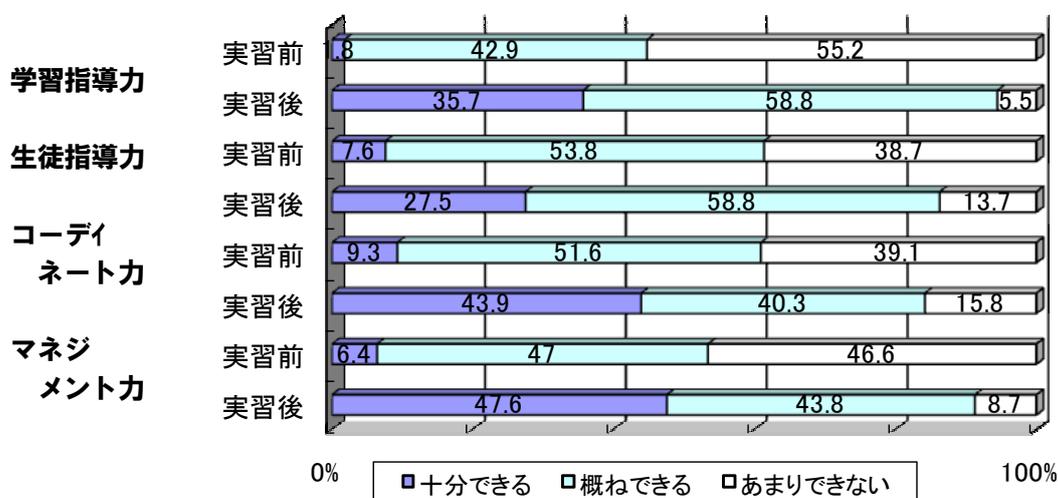
- ① 多様性の中で柔軟性を身に付ける
 - 理論や経験を押し付けない：学びの共同空間
 - 他人を変えるより自分を変える：自己変容
 - 攻め方の多様性：他領域から学ぶ
- ② アートを磨く
 - 子どもと学校現場が第1：アウトカムは何か
 - 研究知も経験知も実践の中に：リアリティがなければ
 - 現場で行動して磨き、振りかえり、やり直す：検証と行動の変容
- ③ 主体性自律性と人間性：氷山の水面下をどう育成するのか

- 毎学年実施する積み上げ方式の教育実習
4つの教育実践力の具体的な行動目標を示す

教育実践力	評価項目
学習指導力	①学習状況の把握力
	②授業設計力
	③授業実践力
	④授業の分析・省察力
生徒指導力	①子どもの発達の特徴を理解する力
	②子どもの生活を理解する力
	③学校・学級での生活を指導する力
	④コミュニケーション力
コーディネート力	①連携・協力の現状を理解する力
	②保護者・地域とつながる力
	③実習校の教職員とつながる力
	④教育実習生同士で協働する力
マネジメント力	①学級をマネジメントする力
	②学年・学校行事をマネジメントする力
	③学校マネジメントを理解する力
	④セルフ・マネジメント力



- 教育学部主免実習前後の変化
→教職大学院院生との比較をして検証



(3) 教職大学院の課題

- ① 入学者の質と量→米国型の機能体としての高等教育を目指すだけでは落ちこぼれが多くなる。日本の共同体的高等教育を基盤に機能体をプラスするように。
→現職派遣教員の質は校長が握っている。校長会への働きかけが必要。
- ②カリキュラムの質→理論と実践の形ばかりの融合では育たない。
→専門職養成の共通基盤があるはず（氷山の水面下）
→教師として成長させる陰のカリキュラムをいかにつくるか。
- ③出の保証
→専門職の職としての確立。

(頁数はG P 報告書「真に課題解決能力を育てるカリキュラム開発」)